

校訓：人のお世話にならぬよう、人のお世話をするよう、そして報いを求めぬよう  
学校教育目標：自ら学び、心豊かにたくましく生きる七塚っ子の育成



# 薫陶

学校だより くんとう

12月号 令和5年11月24日

七塚小学校長 稲垣 優子



七塚小HP QR コード



## 2学期を通して培った達成感や成長を自信へ

暖かな日が続きましたが、やはり師走に近づき、寒い日が増えてきました。猛威を振るっているインフルエンザですが、本校でも罹患者が増えてきており、心配しているこの頃です。

11月1日、2日の学校公開・授業参観では、多くの保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。また3日のいしかわっ子駅伝では、男子16位女子11位という好成績でたすきをつなぐことができました。また7日のマラソン記録会でも、自分の記録の向上を目指して参加児童全員が完走できました。そんな児童の姿に成長を感じると共に、それぞれが自分自身の向上を意識している姿にも感心しました。そして26日には「紅白対抗七小クイズラリー」という縦割りグループでの活動も行う予定です。わんぱくグループでヒントカードをもとに部屋を探し、ミッションを解いていくイベントなのですが、これは6年生の企画委員が中心となって発案・運営したもののようです。「自分たちで考え、主体的に動く」これこそが、七塚小が目指す「主体的に課題に立ち向かう児童」です。参加する児童も、一人一人がどのように行動すればいいのか考え、めあてをもって参加することで、さらに楽しさや達成感を味わえる会になるようにと願っています。

さて、12月は2学期のまとめの時期です。学習面・生活面での今の自分をふり振り返り、十分でない点を改善しながらも、達成感や成長を認め、見える化し、次への自信につなげていけたらと考えています。ご家庭でも子どもたちの頑張りをさらに認め、励ましてくださいますよう、お願いいたします。



## 「刃を研ぐ」～いろいろな体験が、子どもをアップデートします～

イソップ童話の中に「きこりと旅人」というお話があります。



ある日の朝、旅人は山の中を歩いていました。

奥深い森の中、汗を流しながら一生懸命に木を伐っているきこりを見かけました。

そして夕方、同じ道に戻ってみると…朝と同じ場所で、玉の汗をかきながら一生懸命木を伐り続けているきこりがいました。でも、あんまり作業は進んでいないようでした。旅人は足を止めてよくよく見ると、きこりが使っている斧の刃は、ボロボロでした。そこで、きこりに声をかけました。

旅人：「きこりさん、精がでますなあ。でもあんまり作業は進んでないみたいですね、一旦手を止めて、斧の刃を研いだらどうですか？」

きこり：「旅人さんよ、なに言ってるんだよ、刃を研ぐ時間なんておいらには無いんだよ、木を切るのが忙しくてさ・・・。」

このお話を読むと、「刃を研げばいいのに」「ひと休みして刃を研げば、もっと効率が上がるのに」と思ってしまう。しかし自分を振り返ってみると、毎日やるべきことに追われ忙しい日々を過ごしていて、「刃を研ぐ」ことを忘れていないことはないでしょうか。

「7つの習慣」の著者スティーブン・コヴィー氏は、私たちの効果性を高め人生を成功に導く習慣を7つ取り上げていますが、その第7の習慣が「刃を研ぐ」ことであると言っています。そして「肉体」「精神」「知性」「社会・情緒」の4つの側面をバランスよく磨くことが大切なのだそうです。これは子供にとっても同じことですね。自然を散策したり、社会見学をしたり、友達と遊んだり…、学校でもいろいろな活動を工夫していますが、ご家庭でも毎日実行できることや定期的に実践する活動を組み合わせてアップデートできるといいですね。そしてその体験が心の充電となり、子供の成長につながっていると感じています。

